

1

illustrator から出力ワークフロー

ここでは illustrator からの出力ワークフローを示します。

illustrator はベクター系の画像を取り扱う画像ソフトです。一般的には PS (PostScript) プリンタまたは RIP を用いて印刷します。非 PS プリンタ (GDI プリンタ) や RIP を用いない場合は、画像が正しく出力されない場合があります。また大きな出力サイズを設定した場合にも正しく出力できない場合があることが報告されています。

iPF も RIP を使わないで印刷するときは GDI プリンタですので、このような現象が再現することがあります。

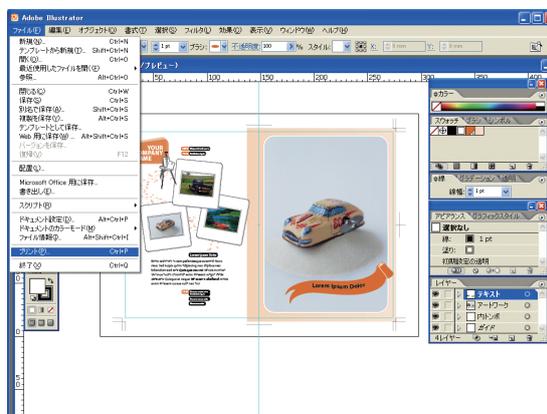
基本的にはアプリケーション側の問題ですのでプリンタ側に問題はありません。

Adobe もこの問題は認識していて、ホームページのサポートで回避策を多数提示しています。

ここでは illustrator で A4 で作成した画像を A1 で印刷することを想定しています。

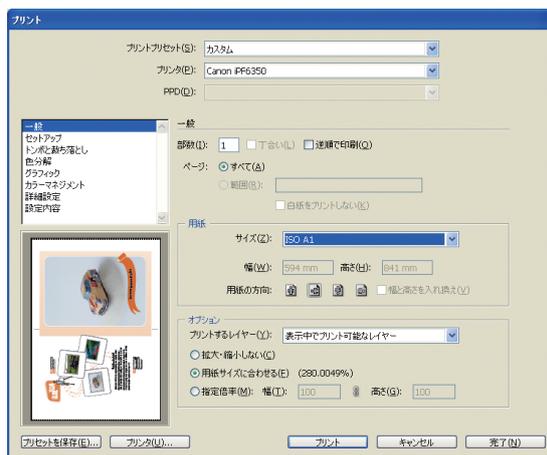
illustrator を起動します。

画像データを作成して「ファイル」から「印刷」を選択します。



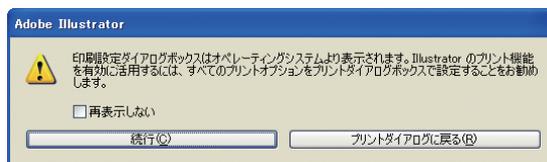
プリントが開きます。

印刷する用紙サイズを A1 の設定し、オプションから「用紙サイズに合わせる」を選択します。

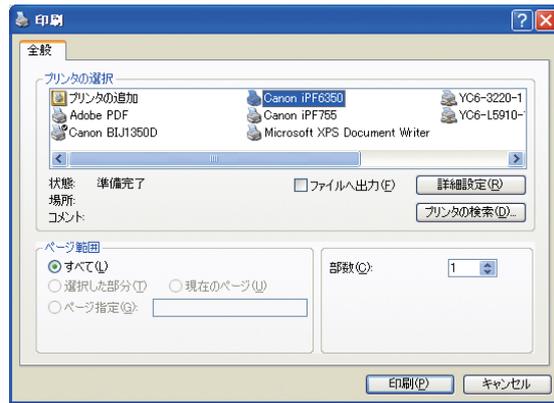


左下のプリンタのボタンを押してプリンタドライバの画面を開きます。

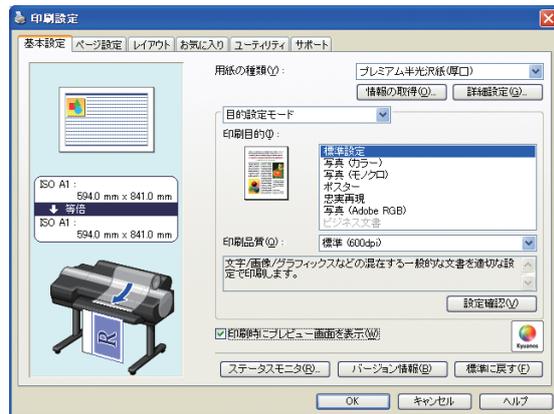
注意を促すダイアログボックスが表示されることがありますが、「続行」を選択します。



印刷するプリンタを選んで詳細設定ボタンを押します。

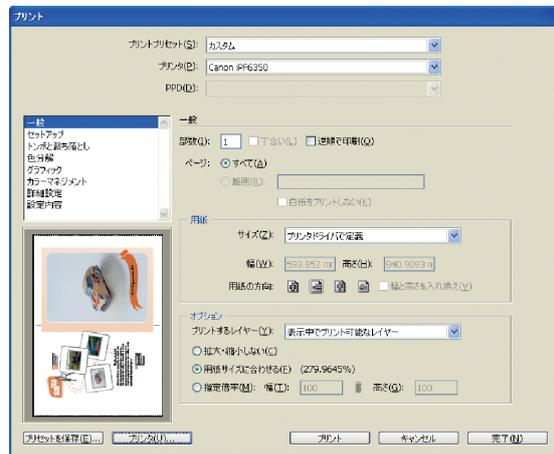


用紙設定、印刷品位などを正しく設定します。



「OK」を押してプリンタドライバ画面を抜けて、「印刷」ダイアログから「印刷」を押して抜けます。

サイズのメニューが「プリンタドライバで定義」に変わっていますが、用紙設定はできています。ここで「プリント」ボタンを押すと印刷が始まります。



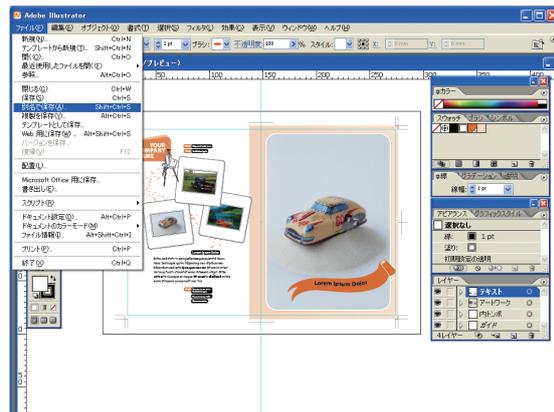
2 illustrator の印刷時のトラブル対応

回避方法 1

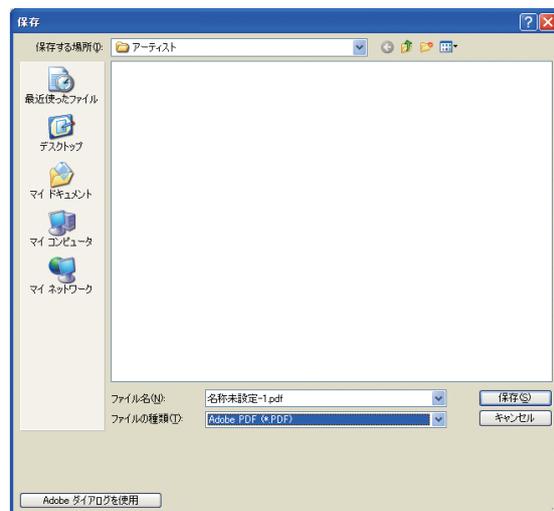
illustrator から出力したときに非 PS プリンタ（GDI プリンタ）では画像が欠けたり、一部分しか印刷されない場合があります。

そのときは illustrator のファイルを PDF で保存して Acrobat から印刷すると問題回避をすることができます。

ファイルから「別名で保存」を選択する



ファイルの種類に PDF を選択して保存します。

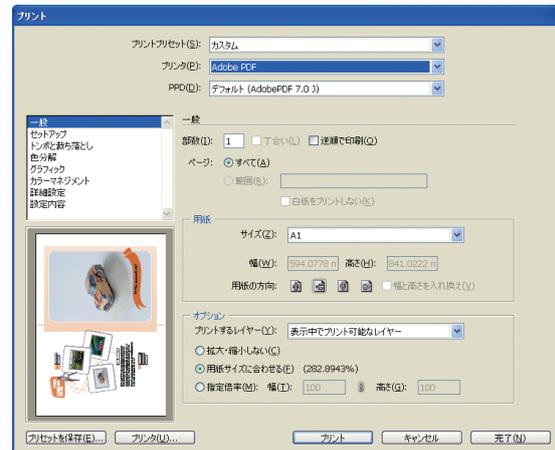


保存したファイルを Acrobat で開いて印刷します。
印刷時にドライバによる拡大などを使って拡大印刷します。(6.1 章、6.3 章参照)

回避方法 2

ファイルから印刷を使って PDF に書き出して印刷します。

ファイルから「プリント」を選択します。



プリンタのメニューから Adobe PDF を選択します。
用紙サイズを印刷するサイズ（ここでは A1）に合わせて、オプションで「用紙サイズに合わせる」を選択します。「プリントボタン」を押すと PDF が作成されます。

作成された PDF を Acrobat で開いて印刷します。